

～別府市の農業～

R2.5.21 別府市農林水産課

別府市は農地の多くが中山間地域（内成地区・東山地区・天間地区）に集中しており、稲作を主体とする農業生産が行われています。また、一部の農家では経営の発展を図るため施設園芸が導入されるなど各地区で特色ある農業が営まれています。

しかし、それらの多くの農地は条件が不利な棚田形状で、現在は担い手不足による耕作放棄地の増加が課題になっています。

◎別府の特色ある農産物



米

別府市内で最も多く栽培されている作物。JAに出荷されたお米は「美味しいべっぷ米」のブランド名で販売されています。また、別府市立の幼稚園・小学校・中学校の給食で提供される米飯は別府市産のお米が使われています。



べっぴんねぎ

別府市の生産者が栽培技術を開発した水耕栽培の小ネギ。施設栽培であるため一年中安定した品質・生産量が維持出来る。現在では県内5つの市町で栽培されており、九州から関西圏まで出荷されています。



ハウレンソウ

通常は冬～春に生産されるハウレンソウを冷涼な山間地で栽培することにより夏場（5月～10月）の生産・出荷が可能になっています。

※その他にも生産量は多くありませんが様々な種類の農畜産物が栽培されています。

◎別府市の農業者人口・農地等面積

○農業者人口 単位：人

市総人口	農業就業者数
	307
122,138	

総人口の約0.3%

※2015年農林業センサスおよび平成27年国勢調査

○農地等面積 単位：ha

市総土地面積	農林地面積		
	農地面積	林地面積	
12,529	8,446	307	8,139

※2015年農林業センサスおよび平成29年面積調査